

情熱気球

こころの炎を集めれば、なりた
い自分になれる

情熱気球へようこそ

- ◇ 情熱気球とは熱を持っている人の集まり
- ◇ 周りの人や同志に応援や協力をすることで自らの熱量をあげ、そうやって気球にその熱を集め、より高く、視野の広さを知り目的の見つからない人にも何か手ごたえをつかめる
- ◇ 1989年藤田雄山を励ます会から未来都市広島を考える会を発足
- ◇ 2013年地域間通貨を考える会発足
- ◇ 2014年たもぎ茸矢野栽培所併走型コンサルタント
- ◇ 2022みんなの思いイレブングループ結成、2023年入院中に情熱気球のアイデアを模索し現在に至る。

- ◇ きのこ栽培所の関わりでわかったこと
- ◇ 地域通貨は何故上手くいかないのか？
- ◇ 物々交換から始まる通貨とは、巨大貨幣とインターネットの関連性
- ◇ 物々交換から感動の通貨へ
- ◇ ありがとうとお蔭様、賽銭の文化を持つ日本
- ◇ 情熱を継続していくには加熱が無いと難しい
- ◇ 感動を対価で表す

- ◆関係法令対応は必要、最短距離を考える
- ◆地域間の取引は防災、セフティーネットになる
- ◆行政が関与せず大手業者に負けない組織づくり
- ◆物々交換、感動対価を地域間通貨で表現する

- ◆ 有限会社ビー・ウェブが情熱気球メンバーに500ポイントを先着100名まで社会実験として無料配布する。以後2回目から1ユニットにつき500円（500ポイント）月1回販売DポイントPayPayマネーも可能
- ◆ 換金は手数料5%及び振込手数料を控除したものを支払うが、発行月から6か月以降は換金は、できないが、物々交換及び感動の対価としては継続して使用できる。ポイントの取引記録は(有)ビーウェブのホームページに記載する
- ◆ 運営は情熱気球Zoomライブ出演、Facebookページ投稿でいいねが10ポイント大事だねが30ポイント、すごくいいね100ポイントいいねを付けた人から、付けられた人に移行される。ソフトの開発ができるまで、有限会社ビー・ウェブが手作業で行う。同時にコンプライアンスの構築を行う。
- ◆ 出展者はアーティスト、商品販売者（自作を含む）福祉事業団体、講演者などを募集する。広島モデルを構築して全国展開
- ◆ 地域間でお譲り会の実施明細付き箱売り制（運賃の節約）

情熱気球の構成（3部構成）

- ◇ I .前半 30分程度3組のゲストスピーチ、生演奏、VTR、スライドショー
- ◇ II .15分3組のゲストを原則的にファシリテーターとして3つの部屋に分け①教育②ビジネス③災害復旧・対策④医学⑤社会問題、自分の周りの困りごとなどの気付き等ディスカッションを行い、意見の抽出を図る
- ◇ III .後半 10分各ファシリテーターの発表を聞き、総括する
- ◇ 御礼として、3組のゲストに①いいねと思ったら10P②すごくいいね50P③大切だねは30Pが移動する。情熱気球の投稿も同様にコメント等にいいねやすごくいいね、大切だねは移動する。評価が対価となる